

←きのこなどがふんだんに入った鍋  
↓旬の味覚が並んだ売り場



### 果物、野菜、きのこなど秋の味覚がいっぱい 木津で恒例の「秋の味覚まつり」

10月3日、JA 亀田郷みなみ木津倉庫前で、木津舞茸愛好会主催、町・JA 亀田郷みなみ・木津地域公民館の後援により「秋の味覚まつり」が開催され、町内外から多くの人たちが訪れました。

まちおこしと地元で生産された特産物に多くの人たちに親んでもらいたいと始められたこの催しは、秋のおいしいイベントとしてすっかり定着しました。

新高梨などのくだもの、マイタケなどのきのこ、新米コシヒカリ、旬の新鮮な野菜、横越ポーク、パン、梨ジャムなどの加工品、花などが店頭にあふれ並びました。

また、多くのきのこ、ねぎや大根、油揚げ、なす、肉などがたくさん入ったきのこ汁が大きな鍋に500人分作られ、来場者はおいしい鍋をふるまわれ、秋の味覚を満喫。町内の女性の方は「いろいろな具がいっぱい入っておいしい。体が温まる」と話していました。

### 秋晴れの日“よこごし”を歩く よこごしふれあいウォーク開催!!

10月17日、町内9つの地域公民館が主催する“よこごしふれあいウォーク”が開催されました。

町内の各名所を歩き巡りながら、地元よこごしをもっとよく知り、町民の和をひろげ、健康増進を図ることを目的に開催されています。

5回目となった今年は、お年寄りから子どもまで総勢464名が参加。絶好のウォーキング日和の中、秋の爽やかな町内を地域の人たちなどと一緒に歩きました。参加者たちは地域ごとに行き先を決め、町内の遺跡や史跡を見学し、横越の歴史や文化を再認識しました。それぞれの体力に合わせてコースを歩き、休憩所となった各地域公民館では、地元特産品を振る舞うなどのサービスもあり、参加者たちから喜ばれました。

町内全29か所すべての史跡などを回った場合、距離は約19kmとなります。町内一周を果たした完歩者の皆さんには、それぞれ完歩証が贈られました。



秋晴れのもと、多くの人たちで賑わいました



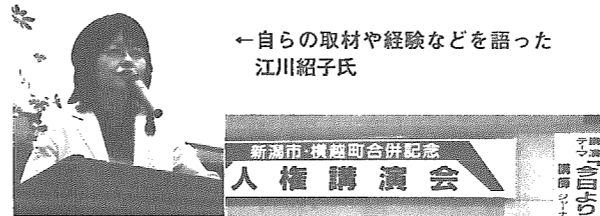
### 楽しい催し物がいっぱいの一日 たもぎの里で第8回味覚まつり

10月17日、横越町観光特産品販売組合「たもぎの里」で、第8回味覚まつりが開催されました。

各店舗では、旬のくだもの・野菜、花・木、阿賀野川で獲れた川ガニ、この日限りのサービス品が数多く並びました。また、来場者を前にテンポよく餅つきが行われた後、つきたてでやわらかい餅が振る舞われたほか、あつあつおいしい鮭汁とわたがしの無料サービス、フリーマーケットやカニ釣り、様々な景品が当たる輪投げゲームもあり、子どもから大人まで楽しみました。今回初めて企画されたケーキ作り体験には親子連れがチャレンジ。お菓子職人から教わりながらスポンジにクリームを塗って、おいしそうなケーキを完成させました。天候にも恵まれ、多くの人たちが町内外から訪れ、よこごしの秋の味覚を堪能していました。

たもぎの里は、11月末まで全店舗で、冬季間も一部の店舗で営業を行っています。

←自らの取材や経験などを語った  
江川紹子氏



### 江川紹子氏を招いて講演会 取材を通して感じた人権の大切さを語る

9月25日、サンウイング横越で、新潟市・横越町合併記念人権講演会が開催されました。

テレビなどに出演し活躍されているジャーナリストの江川紹子さんを講師に招き、「今日よりもよい明日のために」と題して講演がありました。

戦争やテロにより多くの人々が命を失ったり傷を負い、次の世代にも障害が残ったりしている現状について説明し、「戦争は最大の人権侵害」と訴えました。また、最近悲惨な事件が起きていることに触れ、「他人を思いやることや当事者意識が失われてきている」「他人との関わり合いから、自分の好きなことや夢を見つけることができ、自分の人生をよりよく生きていくこと、社会を豊かにしていくことができると思います」と述べ、自分で考えることやコミュニケーションの大切さについて、取材で触れ合った若者や自らの経験を交えながら語り、集まった人たちは真剣に講演に耳を傾けていました。

### 町内の民踊クラブ・郷土芸能愛好者が大集合 第3回社会福祉芸能まつり 盛大に開催

10月3日、総合体育館を会場に社協老連福祉芸能まつりが、町社会福祉協議会主催、町老人クラブ連合会・町文化協会の共催により開催されました。

唄や踊りなどの各サークル・団体は、生活の中の楽しみや友だちづくりの場として、多くの人たちに親しまれています。みんなで楽しめる行事を求める声に応え、また、文化活動の発表機会の拡大と高齢者の生きがい事業として2年前から開催され、今回で3回目となりました。

おそろいの着物や色鮮やかな衣装を身にまとった出演者たちは、日頃練習してきた民謡や演歌、踊りなどを披露。ゲスト歌手の池田一男さんによる歌謡ショーもあり、熱演・熱唱のたびに大きな拍手が送られ、会場内は大変盛り上がりました。出演者から「楽しく踊ることができた」、観客からは「見ていて楽しい。今後もずっと続けてほしい」という感想が聞かれました。



アイデアいっぱいの  
力作が並んだ郵便局



### 日本郵政公社主催のアイデア貯金箱コンクール 子どもたちの力が横越郵便局内で展示

日本郵政公社の主催による「私のアイデア貯金箱コンクール」が行われ、横越小学校1～6年生の作品が、10月4日から22日まで横越郵便局で展示されました。

このアイデア貯金箱コンクールは、子どもたちに貯金箱の制作を通じて、貯蓄に対する関心を高めるとともに、子どもたちの持つ創造力を伸ばすことを目的に毎年行われており、今回で30回目となりました。

地方審査郵便局長賞1点、地方審査努力賞2点、横越郵便局長賞14点など合わせて55点が局内に展示。どの作品も夏休み中に作られ、紙や粘土、木材、乾電池や電球などを使って、家や動物、アニメのキャラクター、ロボット、郵便ポスト、遊園地をかたどったものなど、アイデアにあふれた力作ばかりで、郵便局を訪れた利用者などがしばし足を止め、子どもたちの作品を見て楽しんでいました。